



いおき

【目指す児童像】 自立・自律に向かい成長する子

令和5年6月30日
柏市立柏第八小学校
学校だより第4号



ピンチはチャンス！

「子どもには、なるべくなら苦労することなく成長してほしい」これが親心というものです。一方、「若いころの苦労は買ってでもしろ」ということわざもあります。「自立した大人になるためには、ある程度の苦労は必要だ」ということですね。みなさんはどう思われますか。

おそらく、まったく苦労することなく大人になり、一人で生き抜くだけの力を身につけることは困難です。その子なりの「ピンチ」を自力で乗り越える時、そこに成長の可能性が生まれるのだと思います。

例えば学習面。勉強をする中で、自分の力で解けない課題に出会うのは当然です。子どもが自力で課題をやり遂げるにはどうすればよいのか。(もちろん、学習に躓いている子がいれば、教師としてまずは手を差し伸べることが前提ですが。) もうひと頑張り自分で考えてみるのか。解答を見て自分なりに理解するまで粘るか。やっぱりわからないから友だちに頼んで教えてもらうか。あるいは先生に質問するか。ネットで調べてみるか。方法はなんでも結構。要はこの部分を自力で解決できるかどうかです。子どもが勉強で悩んでいる姿を見ているのはつらいですよ。つい助けたくになります。でも、いつも大人の側から助け船を出し続けていたら…。自力解決する力は身につけることができません。

昔こんな子がいました。5年生なのですが、3年生の算数の学習から躓いていました。

(かけ算九九もやや怪しかった…) 彼女に言いました。「質問してくれば、わかるようになるまで絶対に教えるよ。」すると彼女は、休み時間、放課後、給食の配膳中など、とにかく時間を見つけては算数のノートを持って質問に来ました。小学校を卒業するまで質問し続けた彼女は、たいていのテストで満点を取るまでになりました。中学校では数学が得意教科に変わり、その後彼女は高校の理数科に進学し、今は念願叶って動物病院の看護師をしています。「自力」には、「他力を利用する」力も含まれます。要は、人の力に頼ってでも、何とか自分の力で物事を解決する、それが自力だと思います。



自力で何とかしなければならぬのは、勉強だけではありません。対人関係の問題も同様です。というか、子どもも大人もこちらの方が深刻ですよ。(「嫌われる勇氣」で一躍有名となった心理学者のアドラーは、「すべての悩みは対人関係の悩みである」と言い切っています。)

教室には、「気が合う・合わない」にかかわらず、多くの子どもたちがいます。大勢の子どもたちが毎日同じ空間で生活すれば、トラブルが起きるのは必然です。そこでどうするのか…。

「先生に言っちゃおう！」これは低学年の子どもたちの得意技です。この言葉には「先生の方で、自分に降りかかった問題の解決を図ろう」という願いが込められています。他力ですね。低学年の子どもは、たいていのことを教師に「言いつけ」に来ます。実はここが勝負の分かれ目です。教師が間に割って入り、悪さをした子どもを叱り、とりあえず謝らせて解決してあげる。(他力ですね) このやり方は教師失格です。こういう時には、まず言いつけに来た子どもの言い分を聞きます。ひと通り聞き、子どもの気持ち収まったところで尋ねます。「それであなたはどうしたいの？」すると子どもは、はっとして考え

始めます。「えっ？自分で考えなきゃいけないの」という感じ。「謝ってほしい」「でも自分も悪かったかもしれない」「相手にこの気持ちを伝えたい」「話し合っ
て解決したい」子どもなりに対応策を考えます。ここで初めて教師が間に入り話し合いを見守ります。時には子どもが泣きじゃくりながら言い合いをする事態が勃発します。それでも見守り続けます。すると、話し合いは収束に向かいます。



なぜだかわかりますか？子どもにはもともと問題解決能力が備わっているからです。互いに非を認め合

い、納得した上で「ごめんね」となります。(たいていのトラブルは双方に問題があることが多いので)とかく大人は、子ども同士のトラブルを見守ることが苦しくなり、自ら介入して解決を図ってしまいます。子どもが小さければたやすいことですね。でも、それを続けていたらどうなるでしょう…。小学校高学年ともなれば、大人の介入を拒むようになります。その時、自力では何も解決できない子どもになってしまうわけですね。解決力が育っていない子ども同士のトラブルは、大きな事件やいじめに発展することがあります。それも、大人の目が全く届かないところで…。

子どもはいずれ大人の手を離れます。だからこそ、小さなころからできる限り自力で解決できる力を身につけさせていく。一歩下がって子どもを見守り、最低限のサポートで子どもを支えていく。お互いに、そんな大人でありたいですね。「ピンチこそが子どもの成長の大きなチャンス」なのでから。

◇7月の行事予定

日	曜日	行事予定	日	曜日	行事予定
1	土	5年林間学校(県立手賀の丘青少年自然の家) 全国交通安全週間(~7/7)	12	水	読書ボランティア読み聞かせ(2年) 代表委員会 クラブ活動 スクールカウンセラー来校日
2	日	5年林間学校(県立手賀の丘青少年自然の家)	13	木	PTA 役員会/実行委員会
3	月	5年振替休業	14	金	3年ステップアップ学習会
4	火	5年振替休業 6年「運動を通じたジェンダー共育プログラム」授業 ひまわり学級出前授業(生け花)	17	月	海の日
5	水	全校朝会 臨時代表委員会 委員会活動	18	火	給食最終日 全学年5時間授業(校内研修のため)
6	木	全学年5時間授業(校内研修のため)	19	水	全学年3時間授業(11:50下校)
7	金	6年租税教室 3年ステップアップ学習会 2年3組授業参観	20	木	第1学期終業式(11:50下校)
10	月	大掃除週間(~7/14)交通安全教室	21	金	夏季休業(~8/31)
11	火	クリーンボランティア エンジョイパトロール会食会 ひまわり学級出前授業(藍染)	24	月	個人面談(~7/27) *個人面談予備日(7/28)

交通違反取締開始

6月号でお伝えした交通安全対策の続報です。「日立台第一公園(さんかく公園)横のスクールゾーンへの車両侵入案件」についてです。



6月29日(木)の登校時刻、柏警察(10名体制)による取り締まりが行われました。今回の取り締まりで多数

の違反者が検挙されたようです。常盤台町会の皆様、保護者の皆様の声が警察に届き、子どもの安全対策が、また一歩前進しました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

警察による取り締まりは、今後定期的に行われる予定です。

